



T-placeセンター南 事業者における放課後等デイサービス自己評価結果

公開日：2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		・利用者数によって3階・4階で非常勤スタッフの配置を調整している。 ・送迎がないため少ない人数で行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		・見ることでわかるように図や絵にしたり、文章にしたものを掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		・子どもたち自身で掃除をすることにより、清潔な生活空間を作る意識を持たせている。 ・ボードゲームを中心とした活動を行っていた。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		・いつでも自由に使えるように開放している。 ・特に1人で過ごしたい子の食事の時間や精神を落ち着かせるための場になっていると思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2		・説明はされたが、自分自身があまり理解できていない。 ・午前中での話し合いの時間がなかなか取れていないのでしっかり取りたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・イベントアンケートを取り、それを参考にイベントをしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・隙間時間に個別支援等の進め方の相談をしている。	・最近頻度が減っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7		未回答1 ・外部評価の機会がないので、その機会を増やしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	5		・初年度に3つ受けさせてもらった。 ・定期的な研修が行われていないので、積極的に行ってきたい。 ・機会を増やす。 ・今後実施したい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2		・面談記録等はあるが、標準化されたツールが少ないので、増やしていきたい。 ・標準化されていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		・自立支援協議会への参加、近隣学校への余暇プログラムの提供。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回前例のないプログラムが取り入れられて興味深い。 ・保護者との面談での要望やスタッフが必要と考えた内容をプログラムに反映している。 ・曜日や内容を話し合いで調整している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			・スプレッドシートで支援内容の見える化をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了から就業まで10分以内しかないため、重要なことのみ口頭で共有し、あとは文で共有し、次の日の朝に話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その代わり翌日朝に全体で共有している。 ・必ずではないが翌日には実施している。 ・主に翌朝の打ち合わせで共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			未回答1
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	11			未回答1 ・他デイサービスとの交流、地域の施設利用。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月でイベント会議を1週間設け、子どもたちでイベントを決定している。 ・自己形成に取り組んでいる。 	・利用児童による。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2		未回答1 ・学校との連携をより増やしていきたい。 ・できる限り連携しようと取り組んでいる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	4	・保護者を通して行っている。	・十分ではないがしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	8	・対象利用者の年齢的に、就学後に利用した関係機関とは連携している。	未回答2 ・中高生と小学6年生の利用者のため質問に当てはまらない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	6	・zoomなどのツールを使用して共有している。	未回答2 ・事例がないため。 ・今後は行う予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	7		未回答2 ・定期的に連携を行ってみたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8	・夏祭りでの他のデイサービスを招待することがある。	未回答1 ・時間的なゆとりがない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3		未回答2 ・案内が来ない。 ・今後は積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・必要と判断する事柄は直ちに連絡している。 ・HUGのサービス提供記録でその日の状況を記載している。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	7		未回答1
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		・保護者会、契約時にお伝えしている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		・面談及び家族からの相談は随時行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		・保護者から苦情があった場合、全体で共有し、適切な対応を考えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	・イベントのゲストとして招くことがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	4		未回答1 ・アレルギーはあるが医師からの指示が出ていない利用者しかいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	3		・説明を見たことがない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	3		・職員の研修機会が少ないと感じる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	3		未回答1	